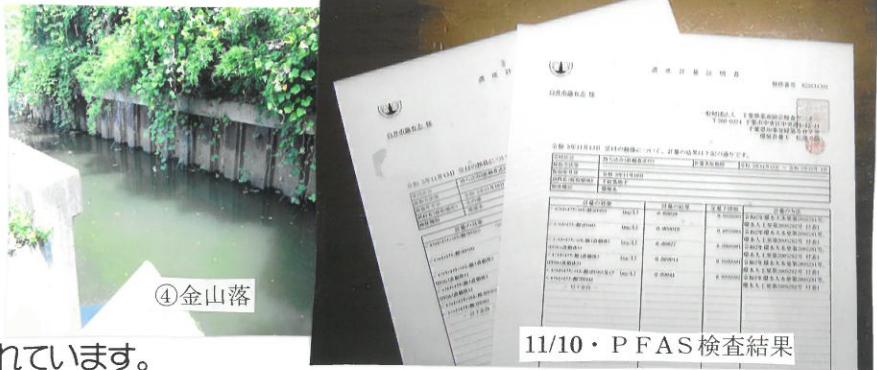


「金山落」に流入する“水路”がPFASで汚染されている！

“水質検査で明らかに、 410ng/l 、 100ng/l の値がでた”

PFAS(有機フッ素化合物)の汚染状況が「NHKクローズアップ現代」「朝日新聞」「世界」「週刊金曜日」などのマスメディアで報道され、健康被害も心配されるので一日も早い対策の必要性が指摘されています。

泡消化剤や界面活性剤として、又、フッ素ポリマー製品の助剤などとして使われてきており、これらの物質は“水溶性”で“難分解性”なので環境残留性が高いのです。だから嘉手納基地、横田基地周辺、PFAS使用工場周辺での汚染が心配されています。



日本ではPFOSは2010年に、PFOAは2021年に第一種特定化学物質に指定され製造・使用が原則禁止(ストックホルム条約で国際的にも禁止)されています。

下総基地では2010年までPFASを含んだ泡消化剤を使用していましたが、この指定に基づきそれ以降は使用していません。ただ環境残留がどうなのか心配です。下総基地は基地内の土壤も地下水も調査していないこと、調査予定もないとのことです。

国の“基準値”が定められていないので井戸水などの水質検査項目に入っています。「暫定目標値」として水道水や環境の目標として $\text{PFOS} + \text{PFOA} = 50$ ナノグラム/ l が定められています。

この目標値を超しているのが、鎌ヶ谷市・柏市・白井市を流れる「金山落」の公共用水域なのです。

「2007年調査」では、下手賀沼近くの①“名内橋”で 334ng/l 。③金富橋付近で 471ng/l 。④道路280号との交差点周辺で $700\sim 1100\text{ng/l}$ 。⑤北の内公園近くで 18ng/l でした。

「2023年のクローズアップ現代」での指摘では金山落が $349\sim 270\text{ng/l}$ 。千葉県の「公共用海域及び地下水のPFOS、及びPFOA測定結果」では名内橋の値は令和3年度: 270ng/l 、令和4年度: 140ng/l でした。

2023年12月議会では柏市議会・白井市議会・千葉県議会などで議員からPFASについて問題提起されています。市当局からは「県と一緒に検討する」といった答弁がなされ(柏市)、県は「周辺市と連携して調査を検討。追加調査実施の際は下総基地とも連携・」とのこと。

これまで市民団体からの要請に対して下総基地や鎌ヶ谷市からの回答は「土壤・水質・井戸のPFASについての調査の予定はない」とのことでした。

国の「PFASに対する総合戦略検討専門家会議」の“今後の対応の方向性”(2023年7/31)の中で「幅広い地域における調査の実施及び調査結果の共有の必要性」が提言されています。

白井市議有志等が水質調査を実施(2023年11/10)

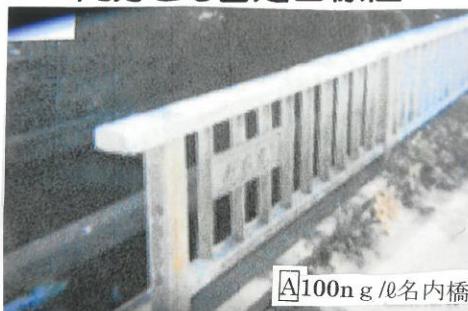
行政がなかなか調べないなか自分たちで調査しようと、白井市議有志らは2023年11月10日にA金山落の名内橋の付近の水とB道路280号の交差点付近の金山落に向かって下総基地のほうからくる水路の水とを採取し調査専門機関に持ち込み検査をしてもらいました。

その結果は

A金山落の名内橋付近は100ng(ナノグラム)/ℓ(リットル)。

B道路280号との交差点付近の金山落に流入する下総基地のほうから来る水路の値は410ng/ℓ。

両方とも暫定目標値50ng/ℓを超える値が出ました。



A 100ng/ℓ 名内橋



B 410ng/ℓ の水路



2007年の調査と同じように名内橋より上流の下総基地に近い地点の値が4倍ほど高いのです。しかも今回は“金山落に流入する下総基地のほうから来る”水路“で410ng/ℓの高い値が出たのです。

クローズアップ現代では、2023年頃の金山落での高い値が報告されていますが、2007年調査で行われたような“名内橋～鎌ヶ谷のさわやかプラザ間の金山落”的公共用水域等の詳細な追加調査はされていないようです。

今まで調査されていなかった水路から高い値が…

今回有志の調査で金山落に流入する“下総基地のほうから来る水路”でのPFASの値が高いことが明らかになりました。

鎌ヶ谷市・柏市・白井市、そして千葉県並びに下総基地はこの金山落のPFAS汚染の原因を究明し、対策を講じるためにも直ちに調査・検査すべきです。

公共用水域の金山落とそこに流れ込んでいる水路の、そして土壌、地下水、井戸水を検査すべきです。

そして原因を究明し一日も早く改善の対策を探ってほしいです。

*「民主主義と自治そして平和主義」藤代政夫 047-445-9144